

報道各社御中 環境省広報室

熊本県南関町での家きんにおける高病原性鳥インフルエンザ発生に伴う
野鳥緊急調査チームによる調査の結果について
(H28.12.30 16:30)

熊本県南関町の家きんにおける高病原性鳥インフルエンザ発生を受けて、12月28日から30日に野鳥緊急調査チームを現地に派遣し、現地の野鳥の生息状況等の調査を実施しましたので、以下のとおり結果をお知らせします。

1 調査結果

12月28日～30日にかけて、熊本県南関町の発生地点周辺半径10km圏の野鳥監視重点区域内および周辺の、渡り鳥の飛来地等の計19地点において生息状況調査、死亡野鳥調査等を実施。野鳥の大量死は認められなかった。

熊本県、福岡県による調査期間内に野鳥監視重点区域内で検査対象となる死亡個体の回収等の異常はなかった。

(参考)

観察された鳥類	51種
うち、リスク種1	4種(オシドリ、キンクロハジロ、ノスリ等)
リスク種2	6種(マガモ、ホシハジロ、オオバン等)
リスク種3	12種(カルガモ、ヒドリガモ、コガモ等)

*本調査結果は暫定値です。

*リスク種とは:「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」において、感染して死亡しやすい種を中心に設定

2 今後の対応

野鳥監視重点区域において、熊本県、福岡県と連携し、引き続き野鳥の監視を実施。

環境省はホームページで野鳥における高病原性鳥インフルエンザに関する様々な情報を提供しています。(http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/)

平成 28 年 12 月 30 日 (金)
自然環境局野生生物課鳥獣保護管理室
公用携帯：090-8940-8582
公用携帯：080-2333-6933
公用携帯：080-5409-3295 (12/29
~ 1/3 期間限定)

企 画 官：東岡 礼治
鳥獣専門官：根上 泰子

九州地方環境事務所野生生物課

直 通：096-322-2413

課 長：横田 寿男

課長補佐：山岡 文麿

公用携帯：090-5920-8718